

## 医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	傍尿道腺の発生母地の検討
研究責任者	大園誠一郎
研究機関名	浜松医科大学泌尿器科
研究目的と意義	<p>女性の尿道には稀に憩室が発生することが知られている。尿道憩室の発生母地については緒説あるが、傍尿道腺より発生するとも言われているが、良性組織であることなどから組織学的検討が進んでおらず、いまだ結論はでていない。最近、傍尿道腺由来組織で HNF-1b、napsin-A が発現することが明らかとなった。尿道憩室に高い確率で発生する淡明細胞腺癌は国内で 10 例以上外科的切除したとの報告があるが、本研究ではこれらの標本を免疫組織学的に解析することで、傍尿道腺および尿道憩室の発生由来を同定することを目的とする。</p>
研究期間	西暦 2015 年 10 月 ～ 2016 年 12 月
研究方法	<p>●対象となる患者さん： 浜松医科大学病院泌尿器科に 1993 年 5 月～2014 年 12 月の間に尿道腺癌と診断された患者を対象とする。</p> <p>●観察/検査/評価 項目 主要評価項目：HNF-1b、napsin-A の発現の有無を確認する。</p> <p>●研究方法 当科での診療開始時からの上記項目データとともに、年齢・性別・治療方法など背景因子を、診療録より抽出集計する</p>
問い合わせ先	<p>〒431-3125 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：泌尿器科 担当者：鈴木 孝尚 TEL：053-435-2306 FAX：053-435-2305 E-mail：<a href="mailto:ts-uro@hama-med.ac.jp">ts-uro@hama-med.ac.jp</a></p>